



Newsletter
Topics

2022.4-2022.9 報告

- ▶ (株)鳥取銀行と鳥取大学が包括連携協定を締結
- ▶ 日本海テレビジョン放送(株)と鳥取大学が協定を締結

イベントレポート

- ・ 鳥取大学振興協力会：
令和4年度第1回振興協力会
役員会・総会を実施
- ・ 出前体験交流会：
ヤマタホールディングス(株)
(株)エスジーズ
- ・ 令和4年度戦略3報告会
- ・ TORIDAI EDGE「宇宙×
科学×社会」
- ・ 地域活動「子ども食堂」
参加型実習

学生活動

- ・ 鳥大防災Lab.鳥取県自治体研
修会
 - ・ 暮らすインターン
 - ・ オオサンショウウオ調査体験
 - ・ Small CoRE project
 - ・ 企業見学シャトル便
- 今後のお知らせ他
- ・ 公開講座サイエンス・アカデミー
 - ・ 公開講座カ【タ】チ
 - ・ CoREラジオ 他

締結 (株)鳥取銀行と鳥取大学が包括連携協定を締結しました

4月25日に、鳥取大学は(株)鳥取銀行と包括連携協定を締結しました。(株)鳥取銀行とは平成16年に連携協力に関する協定を締結して産学官金連携による地元企業と大学研究のマッチングを中心に取り組んできました。

今回の協定では、これまでの取り組みに加え、SDGsの視点から企業や地域が持つ課題の解決を図るため、大学研究のみではなく、関心のある学生や学生団体とのマッチング支援を推進していきます。社会・企業双方の課題解決を推進するとともに、学生の地元企業への関心や将来のキャリア形成を支援します。

協定書に署名した鳥取大学 中島学長からは、「入学者の8割が県外出身者である本学にいて、県内定着を促進するには学生が安心して過ごせるようにしていくこ

とが大切。その一環として、地域の金融機関である鳥取銀行と連携し、学生が地元企業と長期的に関わる活動を支援できることは、今後の地域活性化に一躍担うことができると期待している。」と抱負が語られ、(株)鳥取銀行の平井代表取締役会長からは「地域の活性化は金融機関として最も大切にしている部分なので、鳥取大学と連携し取り組んでいければと思う。学生の持つ様々なアイデアを企業の商品開発やサービス提供に生かすなど、学生が企業に関心を持つ機会を増やし地域活性化に貢献していきたい」と語られました。

鳥取大学と(株)鳥取銀行は、今後、地域活性化のために、幅広い分野での協力を予定しています。



締結式の様子。(株)鳥取銀行 代表取締役 会長 平井氏（左）と鳥取大学 中島学長（右）。

締結 日本海テレビジョン放送(株)と鳥取大学が連携協定を締結しました



日本海テレビジョン放送(株) 代表取締役 田口氏（右）と鳥取大学 中島学長（左）。

6月7日に、鳥取大学は日本海テレビジョン放送(株)と連携協定を締結しました。鳥取大学と日本海テレビジョン放送(株)は、若い世代の地元定着促進を目標に、学生と企業の連携事業支援や、学生の地域活動取材するなど学生と地域の関わりを応援するとともに、大学研究の地域向け発信を強化するなど大学と地域の交流促進による地域活性化を行っていきます。

協定締結をした鳥取大学 中島学長からは、「鳥取大学の持つ研究や教育活動のリソースと日本海テレビジョン様のこれまでの取

材活動などで得たリソースをお互いに有効活用しながら地域活性化に協力して取り組んでいきたい。」と抱負が語られ、日本海テレビジョン放送(株) 田口代表取締役からは「鳥取大学様との連携により、単発的な報道にとどまることなく、地域活性化により深い関わりをしていくとともに、積極的にリソース活用していきたい。」と今後の期待が語られました。

鳥取大学と日本海テレビジョン放送(株)は協力し、地域活性化に向けた取り組みを推進していきます。

Event report

6/2
6/14

■鳥取大学振興協力会

6月2日に令和4年度第1回役員会が、また6月14日に令和4年度第1回総会が開催されました。令和3年度の事業報告並びに令和4年度の活動の活性化に向け、意見交換を実施しました。

■出前体験交流会

出前体験交流会とは、県内企業が鳥取大学CDLを訪問し、学生に向けて自社の商品・技術・サービスなどを実演や疑似体験により説明していただくイベントです。

第1回：ヤマタホールディングス(株)

『「No.1ビルダーが営業で実践しているたった3つのこと」～集めよう！Little Happiness！～』をテーマに、参加者が営業職のコツや営業職の模擬体験をしました。



ヤマタホールディングス(株)の出前体験交流会の様子

第2回：(株)エスジーズ

『「今日出来る！3次元CAD入門」～3次元CADの知識がなくても誰でもオペレータになれる！？～』をテーマに、土木業界における3次元データの活用の現状を紹介し、参加者は3次元CADを実際に体験しました。



(株)エスジーズの出前体験交流会の様子

7/27-29

■令和4年度戦略3報告会

鳥取大学のビジョンである「地域に根ざし、国際的に飛躍する大学」を実現する戦略の一つとして、第3期（平成28年度～令和3年度）において当機構は「人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開」（戦略3）を実施しました。その成果を広く知っていただき、地域への貢献やさらなる研究・教育の発展につなげていくために、令和3年度に実施したプロジェクトの報告会を実施しました。本報告会の発表はYouTubeにて公開する予定です。

■TORIDAI EDGE「宇宙×科学×社会」

今回のテーマは、宇宙を切り口に科学と社会の関わりを考えるです。8月5日はTORIDAI EDGE talkとして、鳥取大学宇宙教育プロジェクトから生まれた独自のボードゲーム教材「PERITUS」を使ったワークショップを実施しました。PERITUSは宇宙開発に取り組む研究者になりきってプレイし、宇宙ミッションの実現を体験することで、社会と科学・技術の関係性について考えるきっかけを得ることができる教材で、参加者からは、「宇宙開発は技術だけでなく社会など様々な見方が必要だと分かった」「楽しく取り組めた」といった感想をいただきました。



PERITUSを実際に体験している様子



■地域活動「子ども食堂」参加型実習
地域イノベーション創出に向けた実践的教育研究推進プログラム＜地域実践型学生教育授業＞の一つである『地域活動「子ども食堂」参加型実習を通して地域の連携・協働について考える』（代表 医学部 野口講師）にて子ども食堂での実習が実施されました。コロナ禍の中、配食サービスで実施し、お弁当の盛付と配食をしました。



「CoRE」が印字されたエプロン(左)
実習の様子(右)



学生活動 学生団体 鳥大防災Lab.の作成した鳥取県版HUGが鳥取県自治体研修会で使用されました

5月31日に、倉吉体育文化会館で市町村や県職員を対象とした防災研修が鳥取県主催で開催されました。梅雨の時期を前に、水害など災害時に住民が避難所を利用しやすくするための運営につなげることを目的とし、約30名が参加しました。

この研修会において避難所運営を学ぶために使われたのが、鳥取大学の学生団体「鳥大防災Lab.」が作成した鳥取県版HUG（避難所運営ゲーム）です。これは、避難所において実際に起こりうる出来事を体験できるカードゲームで、次々に避難してくる人々を状況判断して的確に指示することが求められます。カードには、避難者の情報（家族構成や年齢）などのほか、持病やペット連れなども記載されており、それらの情報を勘案しながら避難所の的確な場所へ配置していくことが

主な流れです。ゲームの最中には、トイレが使えなくなったなど突発的なイベントカードも入っており、実際の災害時に近いように緊迫感ができるように工夫されています。

主催した鳥取県危機管理政策課 竹本幹央係長は、「大変良くできた内容となっており、参加された自治体職員の方の反応も良かった。実際の現場を想定しながら学ぶことは、災害時の訓練として重要なので、鳥取大学の学生たちが鳥取県を想定したHUGを作成してくれてとてもありがたい」と語りました。

鳥大防災Lab.は、今後も防災意識啓発活動を続けていく予定です。

研修会の様子



学生活動 学生団体 ツナガルドボクが「暮らすインターン」を実施しました

8月26日～9月5日にかけて、鳥取大学の学生団体「ツナガルドボク」が琴浦町においてインターンシップと現地での短期滞在を併行して地方の魅力発信を行う「暮らすインターン」を実施しました。昨年度行われた地方創生★政策アイデアコンテスト（主催：内閣府地方創生推進室）にて優秀賞を受賞したアイデアを実現するべく、今年3月には、琴浦町や㈱井木組の協力のもとプレ実施を行い、企画の完成度を高めてきました。

そして、この夏、先の支援先に加えて、鳥取県、西谷技術コンサルタント㈱、倉吉河川国道事務所の協力のもと、鳥取県内外の学生を対象とした暮らすインターンを行いました。

コロナ対策のため参加学生を数名に限定しての実施となりましたが、鳥取大学から3名、県外大学から2名が参加し、各支援先での就業体験を実施しました。コロナ対策のため、琴浦町が運営する古民家を再生したお試し住宅の利用はできませ

んでしたが、参加学生からは「普通のインターンシップでは就業部分のみだが今回は現地で暮らす部分も体験できることから、鳥取で働くイメージが湧きやすかった」など満足した声が多くみられました。

また、今回のインターンシップを運営したツナガルドボク 植田さん（工学部2年）は「実施に至るまで関係者と何度も打ち合わせを行い、コロナ対策なども話し合うなど苦労したことも多かったが、参加してくれた方が満足してくれたのが嬉しかった。今後も続けていきたい」と抱負を語りました。

支援先である㈱井木組 八嶋さんは「学生が自らインターンシップを企画し実行するのは全国的にも珍しく、今回の企画が琴浦町や鳥取県に就職するきっかけになればと思う。」と語りました。

暮らすインターンの様子



学生活動 学生団体 ツナガルドボクが日南町にて生態・水質調査を体験しました

9月13日に、鳥取大学の学生団体「ツナガルドボク」が、㈱エスジーズの方とともに日南町の河川における生態調査と水質調査の体験を行いました。

㈱エスジーズでは、環境調査チームを設け、希少動物の生態調査を事業として行っており、オオサンショウウオをはじめ様々な種類の野生生物調査業務を受けています。

今回、ツナガルドボクの学生たちは、建設業者の多様な業務内容を発信するため、㈱エスジーズの生態調査に同行し、業務を体験しました。

当日は㈱エスジーズの本社にて、生態調査の概

要などの説明を受けたのち、調査地である日南町の河川に移動し、オオサンショウウオの生態調査のため、河川に入り捕獲してオオサンショウウオの身長や体重を計測しました。定期的にこのような調査を行い、オオサンショウウオの生態系に変化がないかを観測しています。今回の調査に参加したツナガルドボク 上田さん（工学部4年）は、「建設業者が環境調査をしていることは知らなかった。河川に入って調査したのは初めてだったのでとてもいい経験になった。SNSを使って今回の体験のことを広めたい。」と語りました。

生態・水質調査の様子



企業見学『シャトル便』

学生が県内企業を訪問し、見学する『シャトル便』。当事業では、当機構のコーディネーターが、企業にアポを取り、学生を見学先まで送迎・案内します。見学時間は1企業あたり約1時間。4月～9月で計14社を訪問しました(右の表)。参加学生からは「多種多様な特色の企業を実際に見学したことでイメージが付きやすくなり、県内就職への思いが強まった。」「なんとなく県外に出たいと考えていたが、自分が県内のことをよく知らないからかもしれないと思った。」などの声があり、「企業がどんな人材を求めているか少し理解ができた」など今後の就職活動に役立ったと答える声も多く見られました。シャトル便は10月以降も開催予定です。

2022年4月～9月までの企業訪問先

6/13	(一財)日本きのごセンター 菌茸研究所
6/13	大谷酒造(株)
6/13	(有)村岡オーガニック
7/25	(株)谷尾樹楽園
7/25	八頭中央森林組合
8/10	FDK(株) 鳥取工場
8/10	(株)日本マイクロシステム
8/10	TVC(株)
8/19	(一財)日本きのごセンター 菌茸研究所
9/8	(有)村岡オーガニック
9/8	三菱マヒンドラ農機(株)
9/12	馬野建設(株)
9/13	(株)ファイナル
9/21	(株)中海テレビ放送



大谷酒造(株)での見学の様子



八頭中央森林組合の組合長室にて
林業への熱い思いを拝聴しました

これからの お知らせ



ホームページ随時更新中！
ご覧ください！！

<https://www.core.tottori-u.ac.jp>



鳥大地域価値



CoREの活動やイベント情報
盛りだくさん！



公開講座 サイエンス・アカデミー

サイエンス・アカデミーでは様々な分野の先生が登場し、地域の方向けに研究のことをわかりやすくお話ししております。

【会場】鳥取県立図書館

【日時】10:30~12:00

※毎月第2・4土曜日(3/4のみ第1土曜日)

※ライブ中継、zoom配信する回もあります

詳しくはQRコードからご覧ください。



Check



CoREラジオ

当機構では、「もっと鳥取大学を身近に感じてほしい」そんな思いのもと、CoREラジオを放送しています。月に1人、ゲストに先生(たまに学生)を招き、地域に関する研究のことから、趣味のことまで楽しくご紹介します。

【放送局】FM鳥取 RADIO BIRD 82.5 fm

【放送日】毎週日曜18:00~18:59

【MC】山下 弥生さん (FM鳥取)

FM鳥取を受信できない方は、インターネット(リアルタイム配信のみ)から聞いていただけます。

過去に放送されたアーカイブはこちらからご覧いただけます。



公開講座 カ【タ】チ

カ【タ】チとは、価値と形の両方の意味をひとつのことばに込めたもので、当講座は、明日の地域の発展のため、共に新しい価値と形をつくりだしていくカ【タ】チ共創力の獲得を目指します。

今年度は、ピアニスト・文筆家、明治大学の先生、こまみり流片付けコンサルタント・ライフコーチの方をお招きし、全5回開催します。

詳しくはQRコードからご覧ください。



Check

CDL
(コミュニティ・
デザイン・ラボ)
とは？

CDLは、当機構による様々な活動をスムーズに、活発に行っていくための拠点です。地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。ご利用方法は上記のCoREホームページをご確認ください。

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐの広報センター内)
Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp